

千葉市北清掃工場焼却炉煙突からの鉄錆の飛散について

千葉市北清掃工場において、焼却炉の煙突から煙突内の鉄錆の飛散が発生しましたので、お知らせします。

このたびは、北清掃工場近隣にお住まいの方、事業者の方にご迷惑をおかけしたこと、また、市民の皆さまへご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げるとともに、今後、再発防止および工場の適正な管理に努めてまいります。

1 事案の概要

北清掃工場には焼却炉が3炉あるが、そのうちの3号炉の設備修理を行うため一時的に焼却炉の稼働を停止し、修理が完了した翌日夜間に焼却炉を再稼働させたところ、煙突の壁面に発生していた鉄錆が上昇気流に乗って吹き上げられ、3号炉の煙突から飛散した。

2 判明した経緯

- 4月24日（月） 設備修理のため、3号炉稼働停止
- 25日（火） 設備修理が完了し、3号炉再稼働
- 26日（水） 北清掃工場の近隣住民から鉄錆の飛散について、問い合わせあり
- 26～28日 市職員による飛散範囲および発生原因の調査
- 28日（金） 北清掃工場からの飛散による可能性が高いことから3号炉稼働停止
- 5月 1日（月） ・近隣住民へ、鉄錆の飛散に関し、市職員による現地調査で発生源の特定を進めている状況等をポスティング
・本市から3号炉内および飛散した鉄錆の成分分析を分析機関へ依頼
- 8日（月） 成分分析の結果、飛散した当時の風向きおよび、他に発生源が確認できないこと、これらを勘案し、飛散した鉄錆は北清掃工場から排出されたものと判断

3 鉄錆の飛散状況および被害の状況

周辺地域の被害状況を確認したところ、北清掃工場から北西へ550メートル圏内において、建物や外構、車両に鉄錆が飛散していることを確認した。

※再稼働時の風向きは南東の風

4 原因

焼却炉の停止・再稼働は通常行う定期整備などでは、時間をかけて常温まで降温し、昇温を行っている。

一方、今回の設備修理における停止時においては、焼却炉内におき火を残し、ある程度温度が高い状態を維持したまま修理を行った。修理完了後の再稼働時は、焼却炉内の温度

が高く、ゴミの燃焼に伴い急激に温度が上昇することになる。このため、煙突内の温度変化も通常の立上げ処理と比べ急激になり、併せて煙突が急激に膨張し、生成していた鉄錆がはがれやすい状態になり、煙突から飛散したと考えられる。

なお、北清掃工場は平成19年度から、長期責任型運営維持管理を行っている千葉エコクリエーション株式会社により、維持管理が行われている。工場の煙突については、維持管理開始以降、煙突全体の目視点検および鉄錆の除去が行われていたが、平成25年度から煙突内の点検が煙突頂部からの目視点検に変更され、現在に至っている。

5 今後のスケジュール

5月13日 住民説明会

※住民説明会以降、鉄錆の飛散・付着に伴い発生した損害の賠償を行っていく予定。

6 再発防止策

北清掃工場全ての煙突の点検、清掃および防錆塗装を今年度中に実施し、来年度以降も継続する。

7 可燃ごみ焼却処理への影響

北清掃工場の可燃ごみの一部を新港清掃工場で受け入れることで、市民生活への影響を生じさせることなく、ごみ処理を継続していく予定。